

3 小学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容		問題番号	出題のねらい	評価の観点	通過率 (%)	備考	
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] A話すこと・聞くこと(1)エ	1	一 必要なことを記録しながら聞き取っている。	思・判・表	30		
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] A話すこと・聞くこと(1)エ		二 話し手の伝えたいことを中心に聞き取っている。	思・判・表	34		
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] A話すこと・聞くこと(1)イ		三 話の中心に気を付けて聞き、話の中心が明確になるよう話の構成を考えて話している。	思・判・表	83		
3・4年	[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 エ	2	(1) ① 学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	知・技	95		
			(1) ②	知・技	92		
3・4年	[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 エ		(2) ③	※調査問題の内容に間違いがあったため、採点、集計の対象から除外しています。			
			(2) ④	知・技	63		
3・4年	[知識及び技能] (3)我が国の言語文化に関する事項 イ		(3)	知・技	52		
3・4年	[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ウ	二	(1) 簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読んでいる。	知・技	91		
			(2) 簡単な単語について、ローマ字で書いている。	知・技	71		
			(3)	知・技	68		
3・4年	[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 カ	3	一 接続する語を適切に使い、一文を二文に分けて書いている。	知・技	30		
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] B書くこと(1)イ		二	目的や条件に応じて、必要な情報を捉え、内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり書いている。	思・判・表	42	○
3・4年	[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 カ	4	一 ① 相互段落の関係をつかんで、接続語の役割を正しく指摘している。	知・技	66		
			一 ②	知・技	78		
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] C読むこと(1)ウ		二	指示語に注目しながら、問いとそれに対する答えの関係を捉えている。	思・判・表	40	
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] C読むこと(1)ア		三	(1) 段落の関係を注目しながら、考えとそれを支える事例の関係を捉えている。	思・判・表	80	
				(2)	思・判・表	83	
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] C読むこと(1)ウ		四	目的に応じて、中心となる語や文を見付けて要約している。	思・判・表	70	○
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] C読むこと(1)イ	一	① 会話文や地の文から関連的に捉えて、登場人物を指摘している。	思・判・表	36		
			②				
3・4年	[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 オ	二	A 様子を表す言葉について、文章に当てはまる言葉を指摘している。	知・技	89		
			B	知・技	81		
			C	知・技	86		
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] C読むこと(1)イ	三	登場人物の気持ちについて、複数の叙述を基に捉えて、当てはまる言葉を指摘している。	思・判・表	71		
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] C読むこと(1)イ	四	(1) 登場人物の気持ちについて、複数の叙述を基に捉えて、当てはまる言葉を指摘している。	思・判・表	41		
3・4年	[思考力、判断力、表現力等] C読むこと(1)エオ		(2)	情景描写から読み取れることを明らかにし、登場人物の気持ちを想像して自分の考えをまとめている。	思・判・表	20	○

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

評価の観点	知・技	思・判・表
通過率	74	53

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	備考	東青管内			西北管内				
			青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	一	必要なことの聞き取り	36	36	25	32	28	34	35	
	二	話の中心の聞き取り	37	37	34	28	26	29	32	
	三	話の構成を考えた聞き取り	85	85	91	81	78	88	80	
2	一	① 「宮城」の読み方	95	95	94	93	94	93	92	
		② 「地元」の読み方	94	94	90	90	91	92	87	
	二	③	※調査問題の内容に間違いがあったため、採点、集計の対象から除外しています。							
		④ 「けんこう」の書き方	68	68	67	69	63	75	73	
	(3)	慣用句の指摘	54	54	59	46	42	50	50	
	二	(1)	ローマ字の読み方 (SIRAKAMI)	95	95	96	91	88	94	93
		(2)	ローマ字の書き方 (とわだこ)	77	77	81	73	66	83	77
(3)		ローマ字の書き方 (たっぴ)	77	77	80	69	69	78	62	
3	一	文章構成(一文を二文に分ける)	31	31	25	29	19	44	32	
	二	条件に応じた表現	○	43	43	37	50	45	60	50
4	一	①	接続語の指摘	68	68	64	65	61	72	67
		②		80	81	77	80	77	87	78
	二	中心となる文の指摘	35	36	26	40	37	55	33	
	三	(1)	段落相互の関係の把握	83	83	80	81	77	87	81
		(2)		86	86	87	84	80	89	85
四	文章全体の要約の指摘	○	71	71	74	67	64	69	69	
5	一	①	叙述を基にした人物の指摘	38	39	29	33	31	37	34
		②								
	二	A	叙述を基にした語の指摘	92	92	94	89	88	92	88
		B		84	84	84	82	83	82	80
		C		88	88	89	85	83	89	85
	三	叙述を基にした登場人物の心情の指摘	75	75	77	69	65	76	69	
	四	(1)	登場人物の心情が分かる一文の指摘	43	44	36	40	36	51	39
(2)		人物の心情の変化についての考え	○	24	24	19	19	20	24	14
教科全体			66	67	65	63	60	69	63	

※備考欄の「○」は、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した問題。

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
29	29	29	33	26	28	31	26	26	24	25	20	28	28	24	30
30	27	28	29	46	37	37	44	34	31	31	33	34	36	25	34
83	84	86	77	82	83	86	83	82	80	82	72	82	83	79	83
95	95	94	96	97	95	96	96	95	94	95	90	95	95	95	95
91	91	92	90	91	92	91	94	91	92	92	89	93	93	92	92
※調査問題の内容に間違いがあったため、採点、集計の対象から除外しています。															
63	64	55	73	54	62	64	62	60	59	59	56	59	60	58	63
51	47	47	56	65	55	58	53	53	47	48	45	51	53	44	52
88	89	89	89	86	90	96	88	88	87	89	78	89	89	86	91
69	69	67	73	68	74	82	68	72	63	65	56	65	67	56	71
64	62	78	64	58	65	66	73	61	65	70	45	63	65	54	68
27	25	31	26	36	34	39	41	29	30	30	32	29	30	24	30
36	39	24	28	39	42	47	45	38	30	29	33	44	45	37	42
65	66	69	62	65	68	71	65	68	60	61	54	65	66	59	66
74	74	79	72	71	82	81	84	81	70	72	61	77	79	67	78
39	41	40	39	30	46	44	42	49	40	40	40	40	41	34	40
81	81	83	82	76	82	85	80	82	78	79	72	77	78	69	80
83	83	82	83	80	85	90	85	81	79	81	71	80	81	79	83
68	68	70	72	64	73	76	73	71	65	65	62	70	71	64	70
33	34	37	29	32	37	39	38	35	29	29	28	38	39	34	36
88	88	90	87	86	92	92	91	92	84	85	80	87	88	83	89
80	80	82	80	74	84	85	81	85	76	77	73	79	80	74	81
85	86	87	83	82	88	88	84	89	81	81	79	84	85	79	86
70	70	71	74	67	72	72	73	72	65	66	61	69	70	62	71
39	38	45	41	33	45	42	45	48	38	38	38	39	41	31	41
20	19	21	18	23	23	23	27	22	14	14	16	17	18	12	20
62	62	63	62	61	65	67	66	64	59	60	55	62	63	57	64

※通過率(%)は、「総正答数/総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
1	一	<ul style="list-style-type: none"> 手順を正確に聞き取れていない。(63.0) [羽を取りつける] [ストローの先に切り込みを入れる] 無答 (3.5)
	二	<ul style="list-style-type: none"> 理由を示す部分を正確に聞き取れていない。(38.0) [重しをつけないとうまく飛ばない] [重しをつけるとうまく飛ぶ] [重しがないと飛ばない] [軽いと飛ばない] 無答 (10.0)
3	一	<ul style="list-style-type: none"> 「たり」の使い方に不備がある。(32.0) [寒さや病気に強いねを開発しています。また、農家の人の手間やひょうがあまりかからない品種を作る研究をしたりしています。等] 正しい【つなぐ言葉】を選択していない。(4.0) 無答 (17.5)
4	二	<ul style="list-style-type: none"> 正確に一文を書き抜くことができていない。(38.5) [おこったり、こわがったりしていることを表しています。] [おこったり、こわがったりしていること。] [おこったり、こわがったりしていることを表している。] 設問の内容や意図を理解していない。(5.0) [イヌが、耳をぴんと立て、鼻にしわをよせて歯をむき出し、うなることがあります。] 無答 (2.5)
5	一	<ul style="list-style-type: none"> ①ぼく ②おじいちゃん (20.0) ①ぼく ②お父さん (7.0) ①おじいちゃん ②ふみや (5.0) ①お父さん ②ぼく (4.5) ①ふみや ②おじいちゃん (4.5) 無答 (3.5)
	四(2)	<ul style="list-style-type: none"> 無答 (29.0) 条件1～4の2つあるいは3つに不備がある。(13.0) 条件2及び3を満たしていない。(11.5) 条件2に不備がある。(10.0) 解答が途中である。(9.5) 条件3に不備がある。(3.0)

エ 今後の指導について

○課題が見られた問題 5四(2)

○出題のねらい

情景描写から想像される登場人物の気持ちと、場面の移り変わりとともに変化した登場人物の気持ちを読み取り、自分の考えをまとめることができるかを判断する問題である。

出題の意図は、令和3年度及び令和4年度の分析において、文章全体を見通して、行動や会話などの複数の叙述から登場人物の状況や気持ちの変化について読み取ることに課題が見られたため、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の行動や気持ちについて読み取る問題とした。

また、考えをまとめる際には、4つの条件に合わせて表現することも重視した。

○分析結果と課題

分析の結果、字数制限や「二文で書く」という形式に関する条件を満たしていないものが多かった。形式に関する条件を満たしているもののうち、情景の読み取りが不十分な解答や、登場人物の気持ちの変化のみを指摘する解答が多かった。

課題として、行動や会話などの複数の叙述を関連付けて登場人物の気持ちを捉える力や、自分の考えを表現する力が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、情景から想像される登場人物の気持ちを読み取る学習を設定するとともに、変化する登場人物の気持ちも想像できるよう指導を工夫することが大切である。さらに、読み取った登場人物の気持ちやその変化を説明したり、伝え合ったりする言語活動の充実を図ることが求められる。

指導例

叙述から登場人物の気持ちを想像する力を高める指導

～単元名『大造じいさんとガン』を読んでおすすめするところを工夫して伝えよう』（第5学年）～

【指導の流れ】

- 1 情景描写の一文を取り除いたものや、他の表現に変えたものと比べることで、情景描写の効果に気付かせ、登場人物の気持ちを想像させる。

学習活動 情景描写の一文に着目して大造じいさんの気持ちを想像する。



「大造じいさんとガン」の中でおすすめしたい一文はどれですか。



「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」の一文です。



その一文は、景色を表しているだけだと思うけど、どうしてその一文にしたのかが気になります。

では、その一文について考えてみましょう。その一文を取り除いたものと比べてみましょう。また、「真っ赤に燃えて」の部分で、「赤く染まって」に言い換えたときと比べてみましょう。



その一文があることで、これから「戦闘」に向かおうとする大造じいさんの気持ちが想像できます。

「赤く染まって」ではなく、「真っ赤に燃えて」だからこそ、「ぜひとも手に入れたい」という強い気持ちが想像できます。



情景から登場人物の気持ちも想像できておもしろいと思います。他にも情景が書かれているところはあるのでしょうか。他の情景の文も読んで、どんな気持ちか想像してみたいです。

ポイント

情景描写の一文と、それを取り除いた一文や他の言葉に言い換えた一文とを比べて読むことで、情景描写の効果について考えさせる。

2 情景描写に着目し、時系列に並べて検討することで登場人物の気持ちの変化を想像させる。

学習活動

情景描写の一文に着目して大造じいさんの気持ちの変化を想像する。



一年ごとに、情景が書かれている一文を見つけました。



それぞれから大造じいさんの気持ちを想像してみましょう。

年が明けた春	その翌年	その翌年	初めの年
<ul style="list-style-type: none">・「清らか」という言葉から、落ち着いた感じやさわやかな感じがする。・「スモモの花」「雪」という言葉から、心もきれいな感じがする。	<ul style="list-style-type: none">・「真っ赤」「燃えて」という言葉から、ぜひとも手に入れたい強い気持ちがある。・「戦闘」という言葉から、戦う気持ちが強い。・かんたんに手に入れられるというようにはない。	<ul style="list-style-type: none">・東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。・「すがすがしい」という言葉から、さっぱりしている。・暗いところに差す光のように、希望を感じている。・会心のえみをもらすほど期待している。	<ul style="list-style-type: none">・秋の日は、美しくかがやいていました。・「たかが鳥のことだ」という言葉から、たくさんのガンを手に入れられると思いき、喜んでいる。・かがやいて見えるほど、期待している。・自信に満ちている。



初めの年やその翌年は、自分の作戦に自信があり、ガンに対しても「たかが鳥」と余裕も感じられます。でも、その翌年は、「なんとしてでも手に入れたい」と、あまり余裕がなくなってきたようにも感じられます。

情景の一文を出てきた順番に並べ、比べて考えると、大造じいさんの気持ちの変化も分かります。



ポイント

情景描写の一文を時系列に並べて提示し、比べて読ませることで、登場人物の気持ちの変化を想像させる。

3 おすすめするところについて根拠と理由を区別して図にまとめることで、自分の考えを形成させる。

学習活動 おすすめするところを工夫して伝えるために、根拠と理由を基に自分の考えをまとめる。



「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」など、大造じいさんの気持ちを想像できる情景の一文が四つもあることをおすすめしたいです。

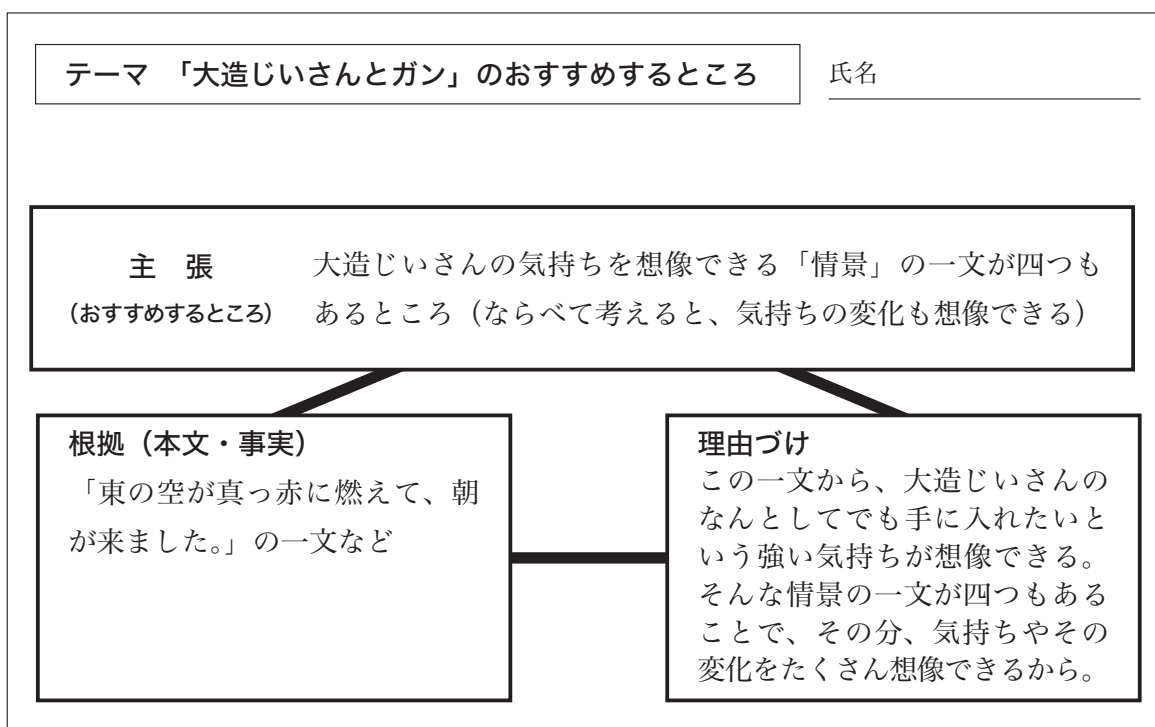


どうしてそのように考えたのか、理由を知りたいです。



それでは、下の図に、理由も付けて自分の考えを書いてみましょう。

図



本文から選んだ部分だけでなく、理由も考えて主張することで、自分の考えがよりはっきりするだけでなく、自分の意見に自信ももてました。

ポイント

本文の叙述を「根拠」に、自分の意見が成り立つ「理由」を考え、「主張」させることを通して、自分の考えを明確に形成させる。

4 グループや学級全体でICTを活用するなどして共有し、異なる立場から「質問」をしてもらい、それに答えることで自分の考えをより確かなものにさせる。

学習活動 自分の考えをまとめた図を共有し、質問に答えることで、自分の考えを確かなものにする。



自分が考えたおすすめするところを、友達はどうのように考えているのかな。友達の意見も聞いてみたいです。



それでは、先ほどの図に、「質問」の欄をつけたものを共有してみましょう。友達からの質問にも答えてみましょう。

テーマ 「大造じいさんとガン」のおすすめするところ		氏名	
質問 情景のよさは何か。	回答 直接書かれていない気持ちをいろいろ想像できる点。	質問 四つあることがなぜ、おすすめなのか。	回答 これまで読んだ物語に四つもなかったから。
<p>主張 大造じいさんの気持ちを想像できる「情景」の一文が四つも (おすすめするところ) あるところ (ならべて考えると、気持ちの変化も想像できる)</p>			
<p>根拠 (本文・事実) 「東の空が真っ赤に燃えて、朝が来ました。」の一文など</p>		<p>理由づけ この一文から、大造じいさんのなんとしてでも手に入れたいという強い気持ちが想像できる。そんな情景の一文が四つもあることで、その分、気持ちやその変化をたくさん想像できるから。</p>	
質問 どの部分から強い気持ちと判断したのか。	回答 「真っ赤」「燃えて」の部分。	質問 椋鳩十さんの他の作品にも情景はあるか。	回答 分からない。図書室で探して調べる。



友達の質問に答えることで、今まで考えなかったことにも気付くことができおもしろいです。私は、これまで椋鳩十さんの他の作品を読んだことがなかったので、改めて読んでみたくなりました。

他の作品と比べることで、「大造じいさんとガン」のおすすめするところがさらにはっきりしてくると思います。



次はどのように工夫したら、より相手に伝わるかを考えましょう。

私は、「真っ赤」や「燃えて」などの意味を詳しく調べて、それを生かした音読を取り入れてみようと思います。



情景は、ドラマや映画などで流れるBGMと同じような効果だと思います。だから、ICT端末を使って、BGMを効果的に取り入れた動画を撮影したいと思います。

～話し合いは続く～

ポイント

自分の考えを共有し、友達からのいろいろな質問に答えることで、自分の考えを確かなものにさせる。